

令和3年度第9回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

- 1 日 時：令和4年3月19日（土） 13：30～17：30
- 2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
- 3 出席者（敬称略、順不同）：
 - 【理事】古城資久、伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、花田祥之、実島可斉、杉本好二
※理事総数：13名、本日の出席理事11名
※田中彰子、菅生桃子は都合により欠席
 - 【監事】安原 徹
※監事総数：2名、本日の出席監事1名
※辻恵は都合により欠席
 - 【陪席】二宮正晴（技術委員長）、鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）
高橋克佳（組織委員長）、松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、花田祥之、実島可斉、杉本好二、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

- 4 開 会
定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。
- 5 議 長 古城資久
- 6 議 事
第1号議案：「令和4年度事業計画」の承認
令和4年度事業計画案について検討がなされた。審議の結果、「令和4年度事業計画」は出席理事全員一致で承認された。

- 第2号議案：「令和4年度収支予算書」の承認
収支相償及び公益事業比率を満たす令和4年度の収支予算書案について検討がなされた。審議の結果、「令和4年度収支予算書」は出席理事全員一致で承認された。
- 第3号議案：「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」の承認
当期中に資金調達の予定がなく、当期中に重要な設備投資（除却または売却を含む。）の予定がないことを記載した書類が検討された。審議の結果、「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」は出席理事全員一致で承認された。
- 第4号議案：「危機管理マニュアル」の承認
危機管理マニュアルについて検討がなされた。自然災害、事故、感染症、犯罪など、内外の危機にどのように対応するのかを記載したマニュアルで、初動対応や危機管理体制等について記載している。審議の結果、「危機管理マニュアル」は出席理事全員一致で承認された。
- 第5号議案：「不祥事マニュアル」の承認
不祥事マニュアルについて検討がなされた。事案発生から初期対応、調査、関係者の処分、再発防止策策定、マスコミ対応などを記載している。審議の結果、「不祥事マニュアル」は出席理事全員一致で承認された。
- 第6号議案：「減量ガイドライン」及び「競技会における健康管理」について
アンチドーピング委員長より、「減量ガイドライン」及び「競技会における健康管理」について記載された書類の検討がなされた。審議の結果、「減量ガイドライン」は出席理事全員一致で承認された。「競技会における健康管理」については、リアリティを高めるための具体的症例を記載、一部修正したうえで承認すること出席理事全員一致で承認された。
- 第7号議案：「パワーウェイブ社」賛助会員申込について
「パワーウェイブ社」の賛助会員申込がなされ、提出書類の検討がなされた。パワーウェイブ社はエレイコの日本総代理店であり、審議の結果、出席理事全員一致で入会が承認された。なお、本件令和4年度からの登録である。
- 第8号議案：国際委員会佐々木陽一氏の副委員長推薦について
国際委員会の佐々木氏より副委員長着任の意向が示され、伊差川国際委員長より推薦状の提出がなされた。審議の結果、佐々木氏を副委員長とすること出席理事全員一致で承認された。
- 第9号議案：中長期計画の見直しについて
令和2年度に策定された中長期計画の見直し案が議場に諮られた。作成同時期に新型コロナウイルスのパンデミックが起こっており、予定通り進捗が認められない項目について期日延長等の修正を行った。審議の結果、「中長期計画」改訂について、出席理事全員一致で承認された。
- 第10号議案：ドーピング防止上心配があるメーカーと選手との取引について
ドーピング防止上心配があるメーカーと選手との取引について、懸念点が述べられた。リスクある会社とJPA登録選手が契約することは当協会にとって不利益であることから、サプリメントに関する契約締結はJ

PAの許可を得ることとし、無許可の場合は選手登録させないことが議場に諮られた。監事より、先に規程整備をすることが必要であるコメントが述べられ、今後、規程の整備を行った上で周知期間を設け発効させることとした。

第11号議案：生涯スポーツ競技会の開催について

継続審議となっていたオールジャパングランプリ大会について、原案が議場に諮られた。討議された主な内容は以下の通り

- ・JPAが主催する全国的競技会であること
- ・参加人数はパワー150名、ベンチ150名とすること
- ・クラシック部門及びエキップ部門を設けること
- ・参加標準記録は80%で出場できるものとする
- ・男女とも過去のジャパクラシック、国体公開競技及び本大会で1位の取得経験のないものが出場できるものとする
- ・Wエントリーは不可とすること
- ・日本記録更新を認めるものとする
- ・第1回大会をアクリエひめじ（兵庫県姫路市）において11月5日至6日開催すること

審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第12号議案：全国的競技会主管協会への報告書フォーマットについて

全国的競技会主管協会への報告書フォーマットについて議場に諮られた。全日本大会やジャパクラシック大会後の実施報告書であり、国の調査ほかガバンスコード対応に必要な情報、次回開催主管協会の参考になる情報を収集するものである。審議の結果、報告書フォーマットは出席理事全員一致で承認された。

第13号議案：IPF国際審判員免許保有者の国内大会審判登用について

IPF国際審判資格保有者の国内大会におけるゲスト審判着任の是非について議場に諮られた。審議の結果、国際親善の意味合いから以下の条件で許可をすること出席理事全員一致で承認された。

- ・IPFへ免許取得状況及び有効状況を確認し有効であること
- ・国内3級審判員とみなしJPA登録してから審判に着任すること
- ・日本記録更新のジャッジは不可とすること

第14号議案：茨城県全日本ベンチプレス選手権大会における日本記録認定時の審判員構成の不備について

茨城県の全日本ベンチプレス選手権大会において、日本記録更新試技の際に3級審判員がジャッジに当たっていたこと報告がなされた。当該選手の手続や試技に問題はなく大会運営上のミスであった。今後は審判免状の確認を徹底することを対策とし、本件日本記録に認定すること議場に確認がなされた。審議の結果、日本記録とすること出席理事全員一致で承認がなされた。また、本件ホームページにて一定期間お詫び文を掲載することとなった。

第15号議案：国内における滑り止め「液体炭酸マグネシウム」について

感染症予防の面から液体タンマグを使用しているが、会場の環境保護の

面からも液体タンマグは歓迎されている傾向にある。今後も液体タンマグを継続するか否か議場に諮られた。検討の過程で、①主管協会の判断で液体タンマグに限定できるようにしたい、②主管協会の判断でロジックフリーのものに限定できるようにしたい、③本件、アスリート委員会と協議をすることが必要などの意見がなされ、次回理事会で継続審議することとなった。

第16号議案：I P F加盟海外N F大会における競技記録の日本国内標準記録の読み替えについて

日本国籍を有する留学生で、海外のI P F加盟団体の大会に出場し、日本の標準記録を上回る記録認定を受けている場合、帰国後において全国大会出場要件の標準記録を突破しているものとみなすことの是非が議場に諮られた。審議の結果、過去1年以内の記録であることを条件に標準記録取得済と読み替えること出席理事全員一致で承認された。

その他議案：

(ア) 組織委員会の追加について

香川県所属の石川和子氏について、組織委員会着任の意向が示され、高橋組織委員長より推薦書が提出された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(イ) ウクライナへの寄付について

I P Fより、I P Fを通じたウクライナへの寄付が呼びかけられた。練習器具の購入やI P F大会への渡航援助に充てられるものである。審議の結果、日本円30万円をI P Fへ送金すること出席理事全員一致で承認された。

(ウ) カザフスタン国際派遣旅行社の決定について

2社の金額見積もり等の資料提示がなされ、旅行社について検討がなされた。審議の結果、旅行社については「エース航空社」を採用すること出席理事全員一致で承認された。

その他報告

(ア) 第26回ジャパクラシックパワー（鹿児島）における利益相反取引の報告について

沖永良部島での大会において、理事への謝金支払いが予定通り行われること報告がなされた。

(イ) 代表理事及び職務執行理事の職務状況の報告について

代表理事及び職務執行理事より自己の職務状況について報告がなされた。

(ウ) 令和3年度の決算見込みについて

令和3年度の決算見込みについて報告がなされた。単年度で余剰金が発生しており、過去の決算上の累積と合わせ特定費用準備資金にて費用計上することなどの方向性の案が検討された。

(エ) 次回理事会

令和4年5月21日（予定）


以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は17:30に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和4年3月19日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 寛久 

監 事

安原 徹 